２０１８年　　５月　　１３日　≪母の日・聖餐式≫

# 主　日　礼　拝

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ①８時半 | ②１０時半 | ③１９時 |
| 司　会 | ①石井師 | ②石井　秀人兄 | ③石井師 |
| 奏　楽 | | | |
| 祈　祷 | ①石井師 | ②白川　達男兄 | ③石井師 |
| 賛　美 | 聖歌３５３番 ＆　～明日はどんな日か～ | | |
| 十　戒 | | | |
| 聖　書 | ①ルカによる福音書23章52節～24章7節<br>②使徒行伝15章６～11節 | | |
| 特別賛美 | 池田宏里兄（ギター） | | |
| メッセージ | ①「女性たちよ、ありがとう！」大川従道牧師<br>②「恵みによって救われる道」石井　潤牧師 | | |
| 聖 餐 式 | 賛美「主イエス神の愛」 | | |
| 献　金 | 聖歌２２９番「アメイジング・グレイス」 | | |
| 祝　祷 | | | 〔献金：渡辺姉・寺澤千姉〕 |
| お知らせ | | | 【司会者】 |
| 賛　美 | 「喜びがある」 | | |

*礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！*

《今週のお知らせ》

１．本日は「母の日」です。感謝致します！昼食後１時～、執事会を行います。

２．今週の祈祷会：☆早天祈祷会/明朝６時。★木曜祈祷会/①午前 10 時半、夜７時半。メッセージは川井宣教師(ルーマニア)。☆準備祈祷会/土曜夜８時。

３．木曜午後２時半～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。

４．来週日曜はペンテコステ礼拝。午後はチラシ配布をします。昼食持参。

5/24(木):ＷＯＧＡ集会　27(日):聖歌隊　28(木):長野家庭集会
6/9(土)10(日):「世の光いきいきタイム ゴスペルコンサート＆聖書のメッセージ」

一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔5/13～/20〕

| *Date* | 日 | | 月 | | 火 | | 水 | | 木 | | 金 | | 土 | | 日 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 旧約 | 列王紀下<br>６－８章 | | ９－<br>11章 | | 12－<br>14章 | | 15－<br>17章 | | 18・<br>19章 | | 20－<br>22章 | | 23－<br>25章 | | 歴代志上<br>1・2章 | |
| 新約 | ヨハネ4:<br>31－54 | | 5:1<br>－24 | | 5:25<br>－47 | | 6:1<br>－21 | | 6:22<br>－44 | | 6:45<br>－71 | | 7:1<br>－31 | | 7:32<br>－53 | |
| チェック | 旧 | 新 | 旧 | 新 | 旧 | 新 | 旧 | 新 | 旧 | 新 | 旧 | 新 | 旧 | 新 | 旧 | 新 |

# 「恵みによって救われる道」

～負いきれない重荷を負わせない主～

「重い束縛を受けて、疲れはてている人たちよ。さあ、わたしのところに来なさい。あなたがたを休ませてあげましょう。」　マタイ11章28節[リビングバイブル]

この15章は、歴史上最も重要な福音主義的キリスト教が誕生した『エルサレム会議』が行われた箇所です。パウロたちは第一回の伝道旅行から帰って来て、そこでなされた数々の神様の恵みによる奇跡について報告し、共に主を賛美しました。

しかし、しばらくしてエルサレムの本部教会から何人かのクリスチャンたちがやって来て、「あなたがたは、イエス様を信じるだけではなくて、旧約聖書の律法を守り、先祖たちからの伝統の儀式である割礼(生後八日目に男性はその性器の皮を切る儀式)を受けなければ救われない」と教え始めました。それに対して、リーダーの一人であったパウロとバルナバはその間違った教えに対して、反対し、大論争となってしまいました。その場では収拾がつかなくなり、本部教会のエルサレム教会に行ってきちんと話し合うことになりました。

その頃の教会には、ユダヤ人たちがほとんどで、中心的に導いていたイエス様のお弟子さんたちもユダヤ人でした。それまでのユダヤ教はユダヤ人以外には基本的には伝えられていませんでしたが、イエス様を通して開かれた救いの福音（＝キリスト教）によって、すべての民族、世界の人々に、救いが拡げられるようになりました。パウロたちはその事実を宣教の現場で目の当たりにしてきました。パウロたちだけではなくペテロもそんな出来事を経験していました。しかし、古くからのユダヤ教を信じてきた多くのクリスチャンたちは、伝統的な考え方を譲ることができませんでした。

イエス様も福音書の中で、「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである」とおっしゃいました。聖書のみことばはその時代時代によって開かれる部分が変化していきます。神様のお言葉は変わりませんが、時代に合わせて、開かれる部分が拡げられていきます。この15章でのエルサレム会議の結果、「救い主であるイエス様を信じるだけで救われる＝創造主なる神様との和解がなされて神の子となる＝罪が取り除かれて人間としてあるべき姿となる」という神様の恵みに満ちた福音の世界が開かれました。

救いは信じるだけで一方的に与えられるものとなりました。そして、私たちのその後の人生も、神の恵みの中で、すべてを神に任せて、肩の力を抜いて生きるように導かれているのに、そのことを忘れて、自分の力によってどうにかしようと苦しんでしまうことがあります。しかし主は「わたしこそ道です。」「これが道だ。これに歩め。」と仰います。主は永遠に私たちを導いてくださるのです。何があってもそのお方を信頼し、見上げ続けることによって、私たちはこの地上においても、主の偉大な力を体験し続けることができるのです。